

〈平成27年（2015年）基準〉

# I 調査結果の概要

## 1 概況

令和元年の農産物価格指数（平成27年を100とする。以下同じ。）の総合価格指数（以下「総合」という。）は109.3で、前年に比べ2.2%低下した。

また、農業生産資材価格指数（平成27年を100とする。以下同じ。）の総合は、101.9で、前年に比べ1.2%上昇した。

この結果、農業交易条件指数（農産物価格指数（総合）÷農業生産資材価格指数（総合）×100）は107.3となり、前年に比べ3.3%低下した。

図1 農産物価指数の推移(平成27年=100)

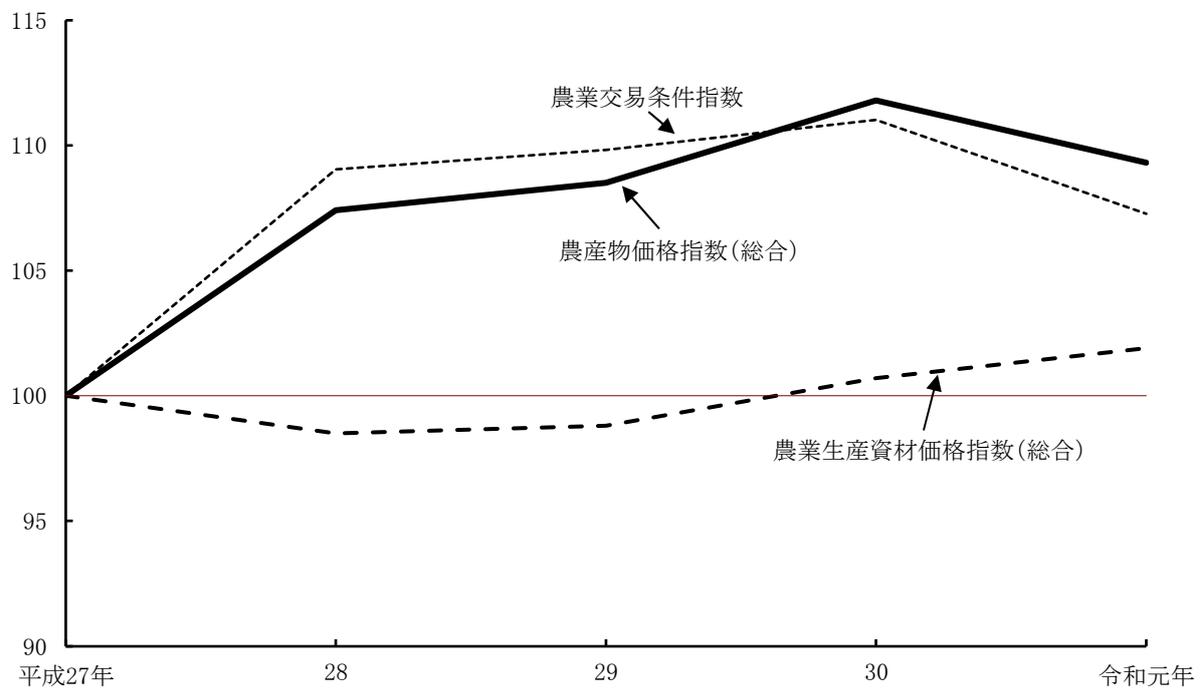


表1 農業交易条件指数の推移

平成27年=100						
区 分	平成27年	28	29	30	令和元年	対前年 騰落率 (元/30)
農産物価格指数（総合）①	100.0	107.4	108.5	111.8	109.3	% △ 2.2
農業生産資材価格指数（総合）②	100.0	98.5	98.8	100.7	101.9	1.2
農業交易条件指数①÷②×100	100.0	109.0	109.8	111.0	107.3	△ 3.3

図2 農産物価格指数(総合)の月別推移(平成27年=100)

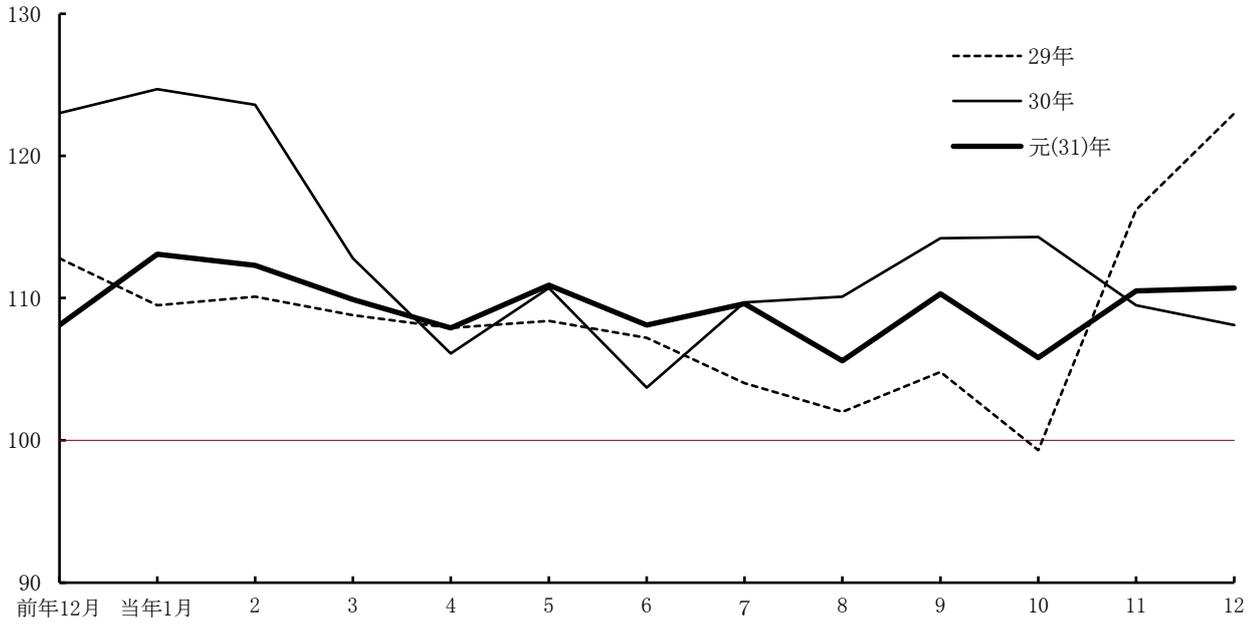
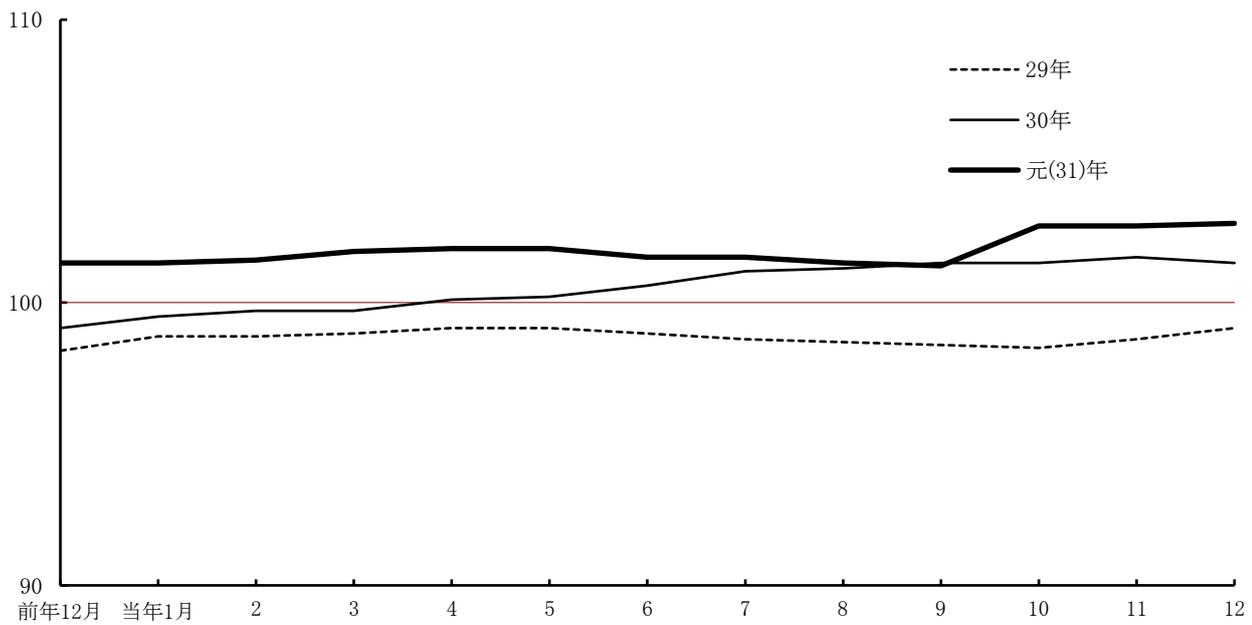


図3 農業生産資材価格指数(総合)の月別推移(平成27年=100)



## 2 農産物価格指数

農産物価格指数（総合）は109.3となり、前年に比べ2.2%低下した。

これは、野菜等の価格が低下したことによる。

主な類別の指数の動向についてみると、次のとおりである。

(1) 米は131.1で、前年に比べ0.5%上昇した。

(2) 野菜は94.8で、前年に比べ11.9%低下した。

これは、低温等の影響で生育遅延が発生し、1、2月に価格が高騰していた前年に比べ、本年は同時期に暖冬の影響で生育が前進し出荷量が増加したことから、ねぎ、キャベツ、はくさい等の価格が低下したこと等による。

(3) 果実は116.4で、前年に比べ1.7%上昇した。

これは、台風被害等により出荷量が減少し、なしの価格が上昇したこと、また、天候不順による生育不良等により出荷量が減少し、ぶどうの価格が上昇したこと等による。

(4) 花きは109.1で、前年に比べ5.1%上昇した。

これは、切り花を中心に価格が上昇したことによる。

(5) 畜産物は104.2で、前年に比べ0.5%上昇した。

これは、鶏卵の価格が低下したものの、生乳、肉豚の価格が上昇したこと等による。

表2 農産物の年次別価格指数及び対前年騰落率

平成27年=100

区 分	年次別価格指数					対前年騰落率					寄与度
	平成27年	28	29	30	令和元年	平成27年	28	29	30	令和元年	
農 産 物（総合）	100.0	107.4	108.5	111.8	109.3	5.3	7.4	1.0	3.0	△ 2.2	△2.24
うち米	100.0	112.4	122.5	130.4	131.1	△10.3	12.4	9.0	6.4	0.5	0.14
麦	100.0	97.2	114.4	142.6	138.5	3.3	△ 2.8	17.7	24.7	△ 2.9	△0.03
いも	100.0	108.8	94.2	85.4	89.0	26.4	8.8	△13.4	△ 9.3	4.2	0.07
野菜	100.0	107.8	100.7	107.6	94.8	12.9	7.8	△ 6.6	6.9	△11.9	△2.96
果実	100.0	110.2	110.6	114.4	116.4	13.0	10.2	0.4	3.4	1.7	0.20
工芸農作物	100.0	98.5	110.2	102.8	99.5	△ 8.3	△ 1.5	11.9	△ 6.7	△ 3.2	△0.07
花き	100.0	103.7	101.5	103.8	109.1	8.2	3.7	△ 2.1	2.3	5.1	0.24
畜 産 物	100.0	104.2	106.2	103.7	104.2	7.1	4.2	1.9	△ 2.4	0.5	0.13
うち鶏卵	100.0	92.8	94.0	85.4	80.2	4.3	△ 7.2	1.3	△ 9.1	△ 6.1	△0.06
生乳	100.0	101.5	103.0	103.7	105.6	4.2	1.5	1.5	0.7	1.8	0.21
肉畜	100.0	99.2	101.9	96.3	96.9	5.5	△ 0.8	2.7	△ 5.5	0.6	0.05
子畜	100.0	123.1	125.2	122.6	121.9	18.3	23.1	1.7	△ 2.1	△ 0.6	△0.03
成畜	100.0	123.3	123.9	122.4	116.5	16.8	23.3	0.5	△ 1.2	△ 4.8	△0.04

注：寄与度は、令和元年の農産物価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。

### 3 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数（総合）は101.9となり、前年に比べ1.2%上昇した。

これは、肥料、飼料等の価格が上昇したことによる。

主な類別の指数の動向についてみると、次のとおりである。

- (1) 肥料は98.0で、前年に比べ3.9%上昇した。

これは、原料価格等の上昇により、高度化成等の複合肥料の価格が上昇したこと等による。

- (2) 飼料は97.3で、前年に比べ1.2%上昇した。

これは、配合飼料の価格が上昇したこと等による。

- (3) 農業薬剤は100.5で、前年に比べ1.1%上昇した。

これは、殺虫剤の価格が上昇したこと等による。

- (4) 光熱動力は106.8で、前年に比べ0.2%低下した。

これは、ガソリンの価格が低下したこと等による。

- (5) 農機具は100.8で、前年に比べ0.5%上昇した。

これは、大農具の価格が上昇したこと等による。

- (6) 賃借料及び料金は101.6で、前年に比べ0.8%上昇した。

これは、共同施設利用料の価格が上昇したこと等による。

表3 農業生産資材の年次別価格指数及び対前年騰落率

平成27年=100

区 分	年次別価格指数					対前年騰落率					寄与度
	平成27年	28	29	30	令和元年	平成27年	28	29	30	令和元年	
農業生産資材（総合）	100.0	98.5	98.8	100.7	101.9	0.2	△ 1.5	0.3	1.9	1.2	1.19
うち種苗及び苗木	100.0	100.6	101.1	101.5	102.8	2.7	0.6	0.5	0.4	1.3	0.07
畜産用動物	100.0	118.0	121.2	118.3	118.6	14.3	18.0	2.7	△ 2.4	0.3	0.02
肥 料	100.0	98.2	92.7	94.3	98.0	1.8	△ 1.8	△ 5.6	1.7	3.9	0.38
飼 料	100.0	93.1	92.4	96.1	97.3	1.4	△ 6.9	△ 0.8	4.0	1.2	0.23
農業薬剤	100.0	100.0	99.4	99.4	100.5	1.1	0.0	△ 0.6	0.0	1.1	0.08
光熱動力	100.0	86.5	95.7	107.0	106.8	△15.1	△13.5	10.6	11.8	△ 0.2	△0.02
農 機 具	100.0	100.2	100.2	100.3	100.8	0.5	0.2	0.0	0.1	0.5	0.09
賃借料及び料金	100.0	100.7	100.3	100.8	101.6	1.3	0.7	△ 0.4	0.5	0.8	0.08

注：寄与度は、令和元年の農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。